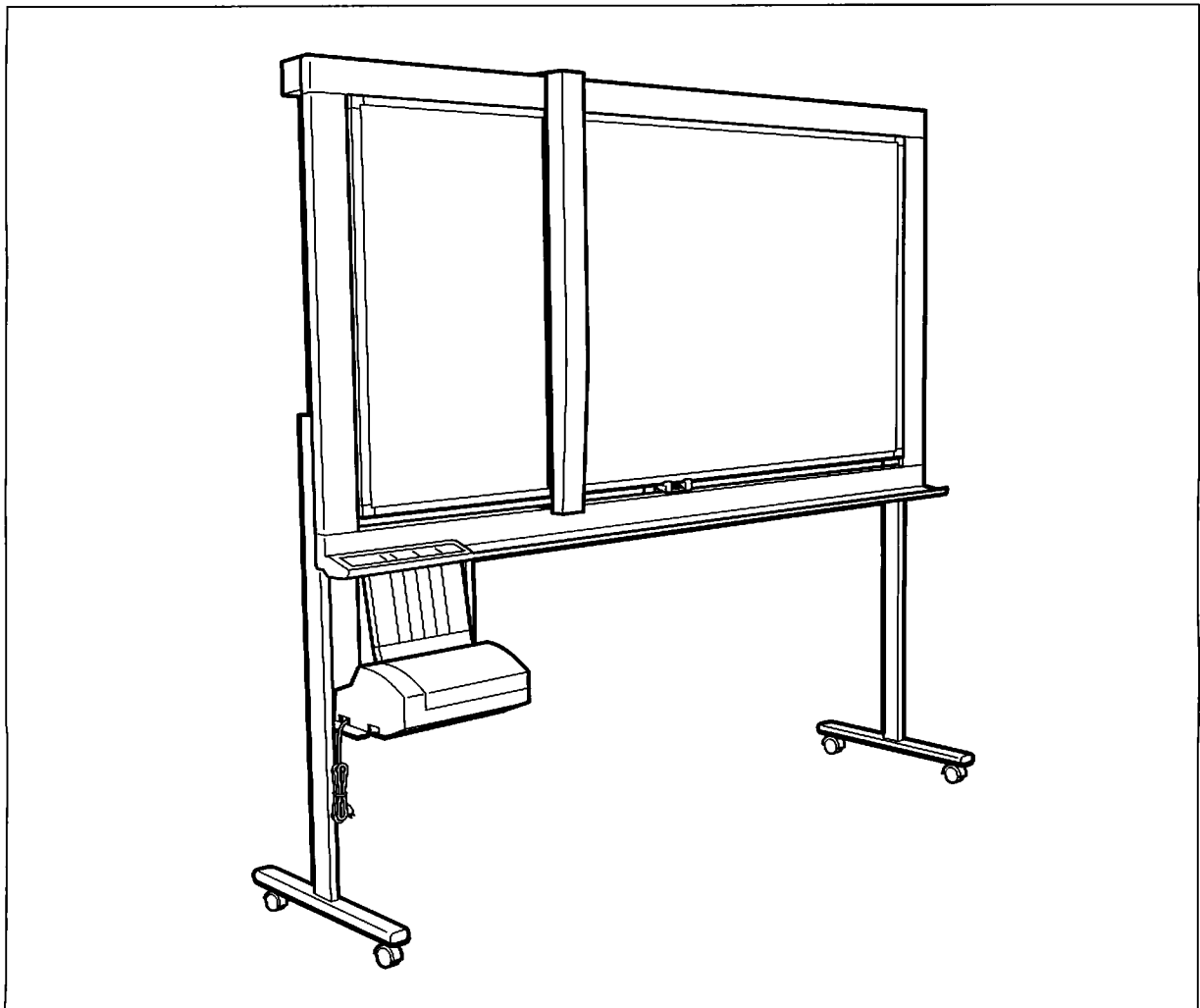


取扱説明書

書撮J**FE**

1300型 脚付きタイプ、壁付けタイプ



ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 (必ずお守りください)	3
取扱上のお願い (必ずお守りください)	9
特長	11
各部のなまえ	12
インクフィルム／記録紙のセットのしかた	15
インクフィルムのセット	15
インクフィルムの交換	17
記録紙のセット	18
ボードの使いかた	19
ボードに書く	19
ボードに貼る	19
ボードを回転させる	20
コピーのとりかた	21
コピーをとる	21
濃度切り替え	22
複数枚コピーのとりかた	23
お手入れのしかた	24
本体の清掃	24
スキャナユニットの清掃	25
プリンターの清掃	26
移動するときは	28
こんなときには	30
記録紙がつまったとき	32
ホワイトバランス調整	33
アフターサービスについて	35
消耗品	36
オプション品	36
主な仕様	37

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



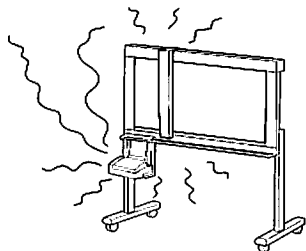
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

煙が出ている、へんなにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



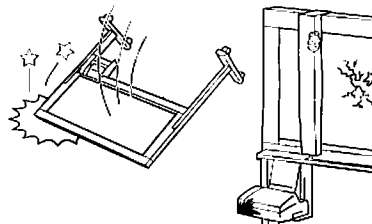
火災・感電の原因となります。

販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

本機を倒したり、外装部を破損したときは使用をやめ、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。

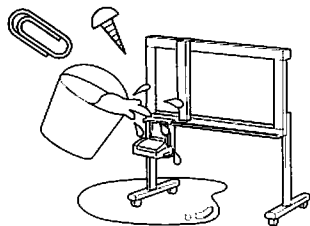
販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

警告

プリンター、スキャナーに水や異物などが
入ったときは、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く



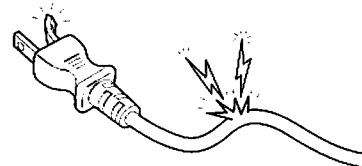
火災・感電の原因となります。

販売店またはお客様ご相談センターにご連絡
ください。

電源プラグや電源コードがいたんだ
(電源プラグの破損、栓刃の変形、芯
線の露出、断線など)ときは使用し
ない



禁止

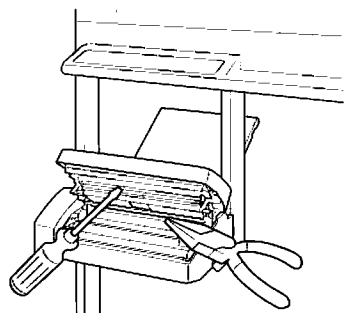


火災・感電の原因となります。

本機を分解、改造しない



分解禁止



火災・感電の原因となります。

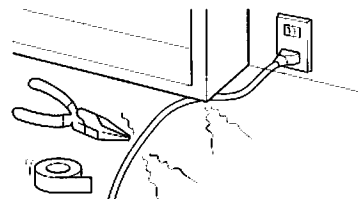
指定以外の内部の点検・修理については、販
売店またはお客様ご相談センターにご連絡く
ださい。

電源コード、電源プラグを破損する
ようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたまま使用しない。)



禁止

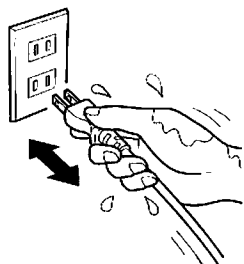


傷んだまま使用すると火災・感電の原因とな
ります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しし
ない

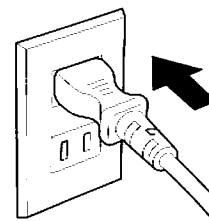


ぬれ手禁止



感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込
む

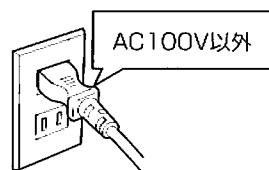


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による
火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える
使い方や、交流 100V 以外での使用
はしない

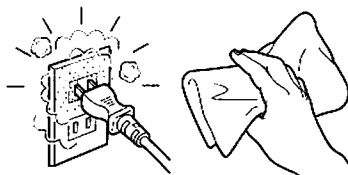


禁止



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による
火災の原因となります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁
不良となり、火災の原因となります。

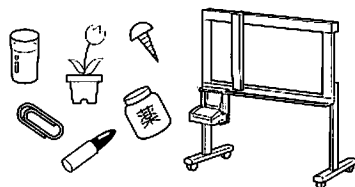
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてくださ
い。

本機の上や近くに水などの入った容
器や小さな金属物を置かない

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、ク
リップなど)



禁止



こぼれたり、落ちたりして内部に入った場
合、火災・感電の原因となります。

スキャナー一部動作の障害になり、落下による破
損・けがの原因となります。

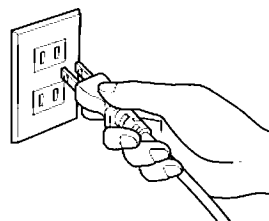
本機の電源は国内仕様なので、海外
では使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜き差しするときは、プ
ラグ(金属でない部分)を持つ



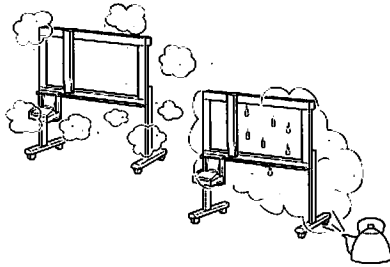
コードを引っばるとコードが傷つき、感電の
原因となることがあります。

⚠ 注意

油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない
(加湿器のそばなど)



禁止

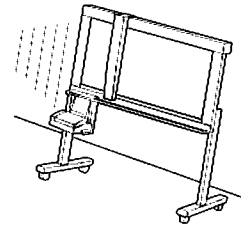


火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動・衝撃の多い所には置かない

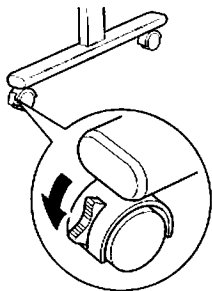


禁止



動いたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

設置後は必ずキャスターをロックする

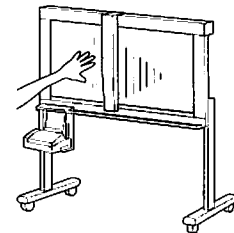


動いたり倒れたりして、けがや周囲の物の破損の原因となることがあります。

動作中はスキャナーやボード面に触れない

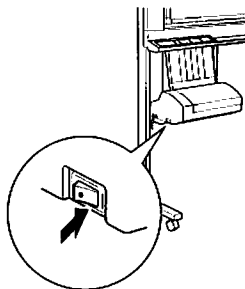


接触禁止



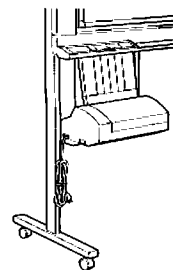
けがの原因となることがあります。

使用後は必ず電源スイッチを切る



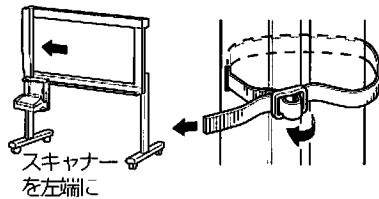
不用意にパネルのスイッチを押すとスキャナーが動いてけがの原因となることがあります。

移動する場合は、電源コードなどはずす



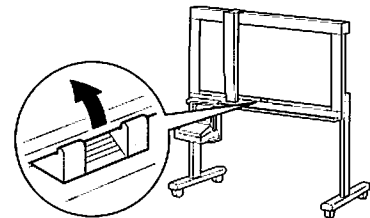
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動するときや使用しないときは、
スキャナーをスキャナーバンドで固
定する



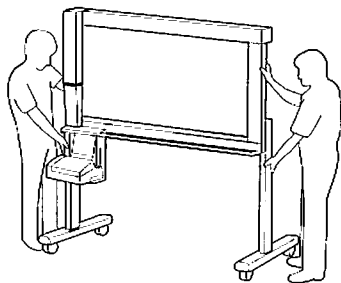
スキャナーが動き、けがの原因となることが
あります。

ボードは必ずボードストッパーで固
定する



ボードが回転し、けがの原因となることがあ
ります。

移動するときには、必ず二人で行う

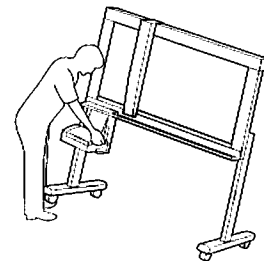


けがの原因となることがあります。

本機を持ち上げたり傾けたりしない



禁止

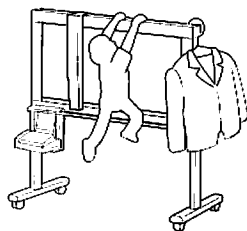


転倒などにより、けがの原因となることがあ
ります。

本機に物を掛けたり、ぶらさがった
り、もたれたりしない



禁止



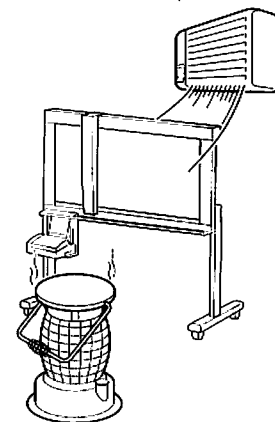
動いたり倒れたりして、けがや周囲の物の破
損の原因となることがあります。

特にお子様にご注意ください。

温度変化の激しい場所には置かない
(エアコン、暖房機のそばなど)



禁止



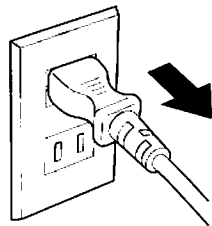
本機の内部に結露が発生し、火災・感電の原
因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行う



電源プラグを抜く

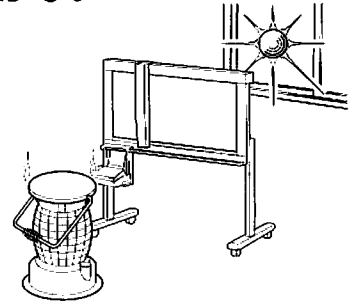


感電の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かない

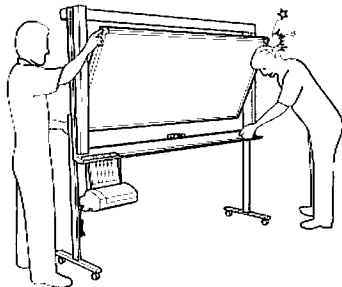


禁止



内部の温度が上がる、カバーや電源コードの被覆が溶ける、などで火災の原因となることがあります。

ボードを回転させるときは、物や人にぶつからないよう注意する



けがの原因となることがあります。

開閉部を閉めるときは手をはさまないよう注意する



指に注意

けがの原因となることがあります。

湿気の多い場所では、アース線を取り付けて使用する

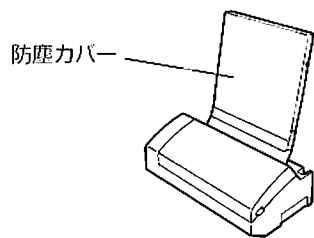


アース線接続

感電の原因となることがあります。

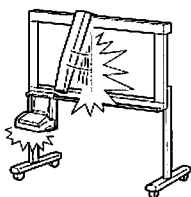
取扱上のお願い **必ずお守りください**

記録紙をセットしたあと、必ず防塵カバーを取り付ける



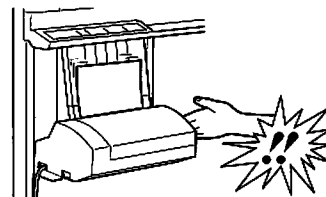
- ・ 防塵カバーを取り付けないと、記録紙の給紙不良となることがあります。
- ・ 記録紙をセットしていないときでも、防塵カバーは取り付けておいてください。

本機に強い衝撃を与えない



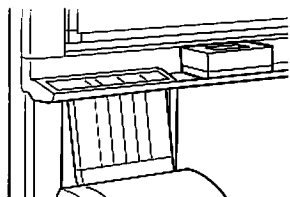
- ・ 機器障害の原因となります。

記録中は開閉カバーを開けない



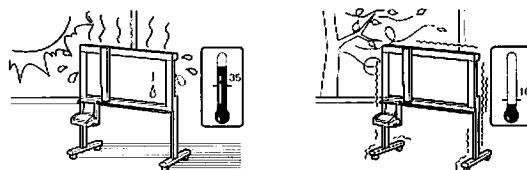
- ・ 記録紙つまりの原因となります。

ラール (黒板消し) は、受け皿に横にして置く



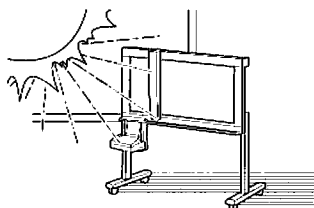
- ・ スキャナー故障等の原因となります。

暑い場所(35℃以上)や寒い場所(10℃以下)には置かない



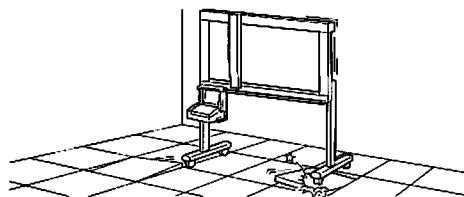
- ・ 誤動作の原因となります。

屋外や直射日光のあたる場所で使用しない



- ・ コピーが白くなったり、黒くなったりします。

凹凸のある所では使用しない



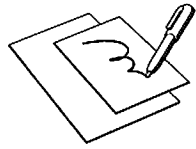
- ・ コピーが白くなったり、黒くなったりします。

取扱上のお願ひ

必ずお守りください

コピー後の記録紙の上に紙をのせて文字を書かない

また、裏面に文字を書かない

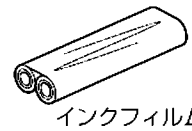


- ・別の紙や机にインクが転写することがあります。

当社推奨品・指定品以外の記録紙、インクフィルムは使わない



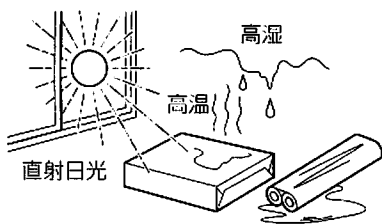
推奨品・指定品以外禁止!



- ・記録品質への悪影響や、故障の原因となります。

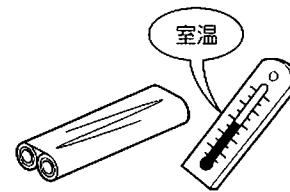
次のような場所に記録紙、インクフィルムを保管しない

(直射日光の当たる場所、高温・高湿の場所)



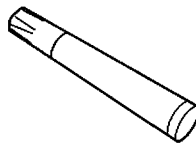
- ・用紙の変色、記録不良の原因となります。

インクフィルムは室温で保管する
(室温 10℃～35℃)



- ・高温または低温での保管は、記録不良の原因となります。

ホワイトボード用のマーカーを使用する



- ・ホワイトボード用マーカー以外の筆記具を使用すると書いた文字・線が消えなくなります。

コピーについてのご注意

■ 次のようなものをコピーすることは、法律で禁止されています。

● 紙幣・貨幣・政府発行の有価証券・国債証券・地方証券 ● 外国において流通する紙幣・貨幣・証券類 ● 未使用郵便切手・官製ハガキ ● 政府発行の印紙・酒税法で規定の証書類

■ 著作権の目的となっている書籍・音楽・絵画・版画・地図・図画・映画・写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内その他、これに準じる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁止されています。

便利な機能がいろいろ使えて、
しかも操作はかんたんです。

■コピーが鮮明。

読み取りはスキャナー移動方式を採用。コピーが鮮明で音も静かです。

■書きやすい。

ホワイトボードは線や文字が書きやすいスチール製ホワイトボードです。(P.19)

■原稿・印刷物もコピーOK。

マグネットではり付けたチャート(原稿・印刷物)もコピーできます。(P.19)

■うすい文字もコピーできる。

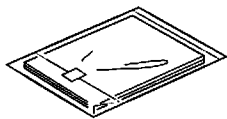
濃度切り替え(2段階)を使えば、うすい文字もコピーできます。(P.22)

■複数枚コピーができる。

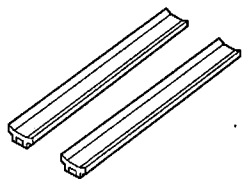
1度に最大9枚までのコピーができます。(P.23)

付属品

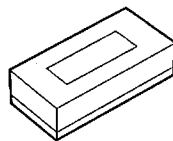
ご使用の前には、付属品の数量を確認してください。



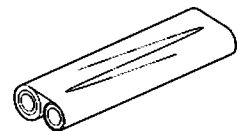
テスト用記録紙……1パック



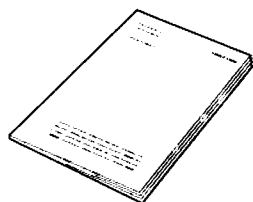
マグネット……2本



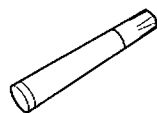
ラフィール
(黒板消し)……1個



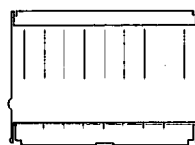
テスト用インクフィルム……1個



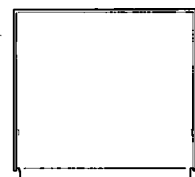
取扱説明書……1部



マーカー(黒)……1本



記録紙トレイ……1個



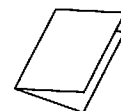
防塵カバー……1個



インクフィルムホルダー……1個
(プリンタ内)



レンチ……1本
(組立時に使用)



設置連絡書(ハガキ)……1部

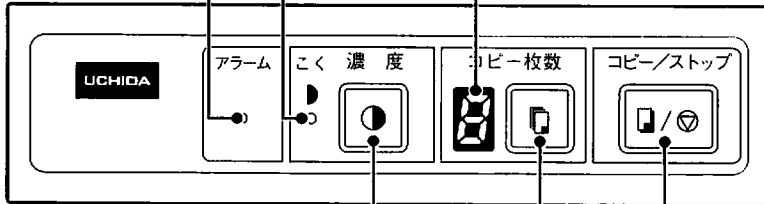
各部のなまえ

〈操作パネル〉

アラーム ランプ
プリンターまたはスキャナーの異常があったとき点灯

こく ランプ
コピーを「こく」設定で点灯

コピー枚数 表示ランプ
コピー枚数、またはエラーの状態を表示



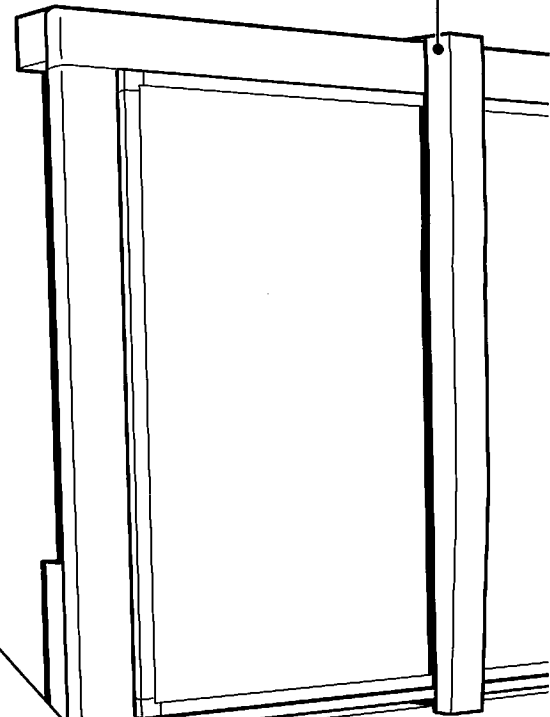
濃度 切替ボタン
うすい文字をコピーするとき押す

コピー枚数 ボタン
コピー枚数を設定するとき押す

コピー/ストップ ボタン
コピーをするとき、または止めるとき押す

〈前面〉

スキャナー



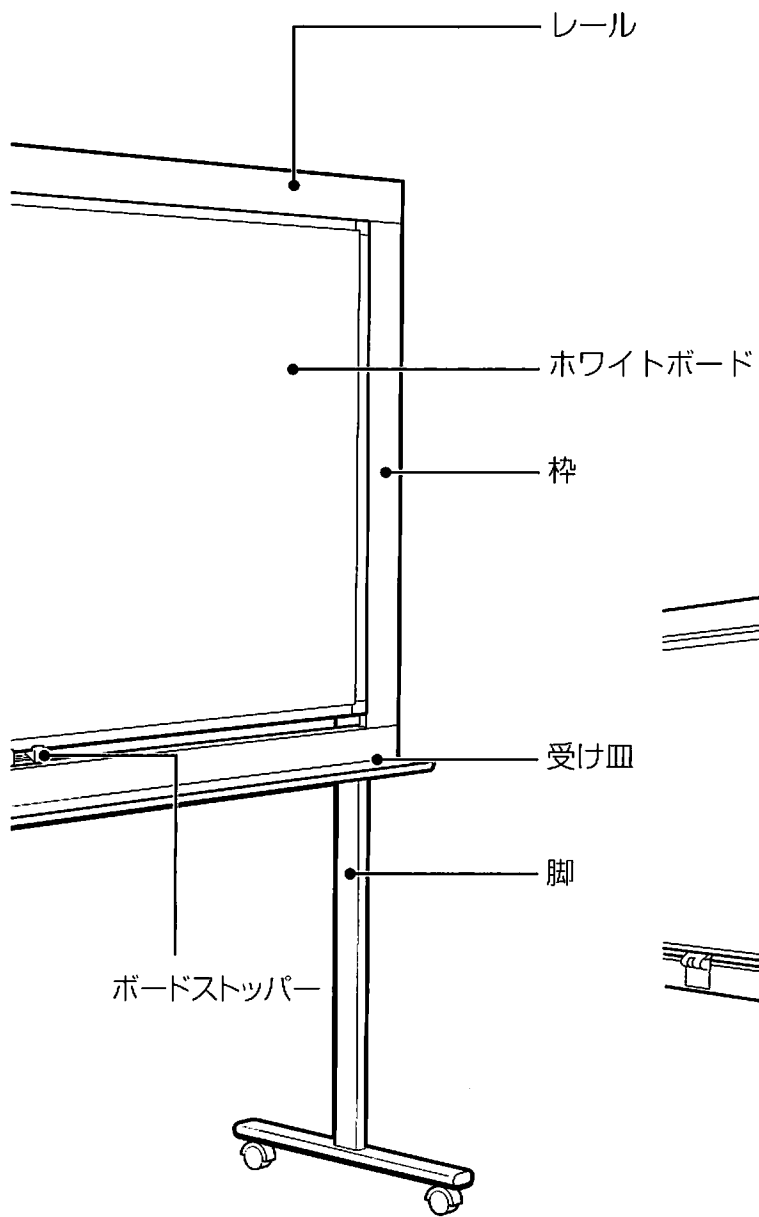
接地端子 ⚡
アース線をつなぎます。

プリンター

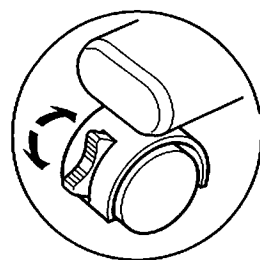
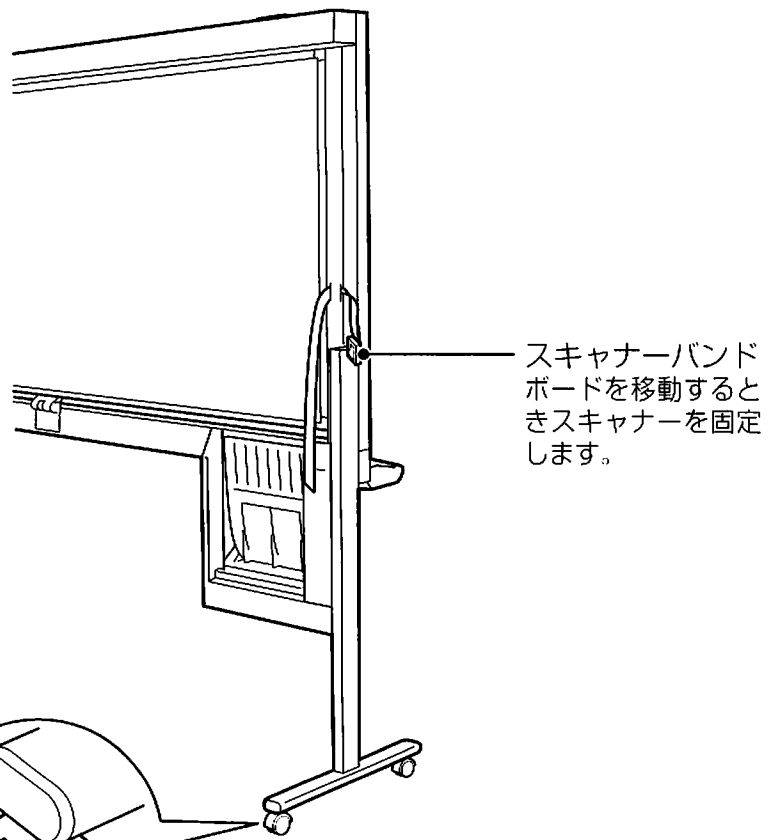
電源スイッチ

キャスター

電源コード



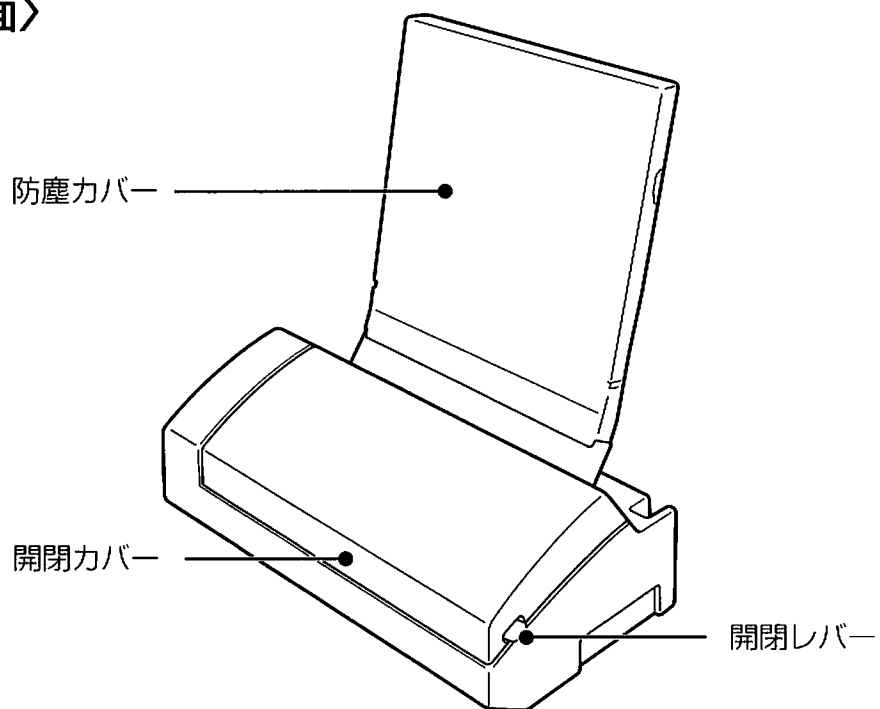
〈後面〉



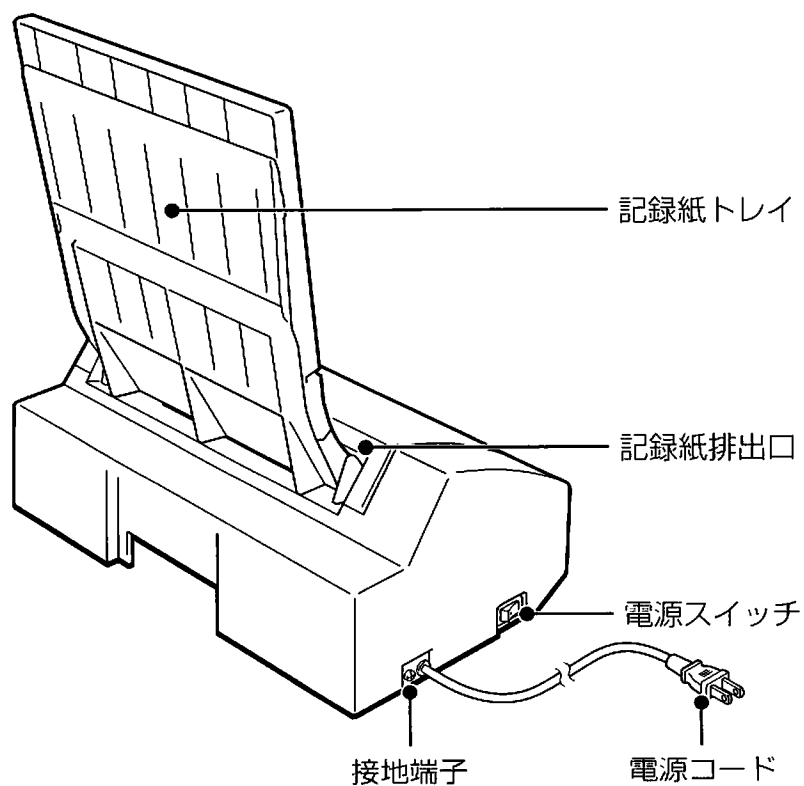
キャスターロック
ボードを固定するときに使います。

プリンターユニット

〈前面〉



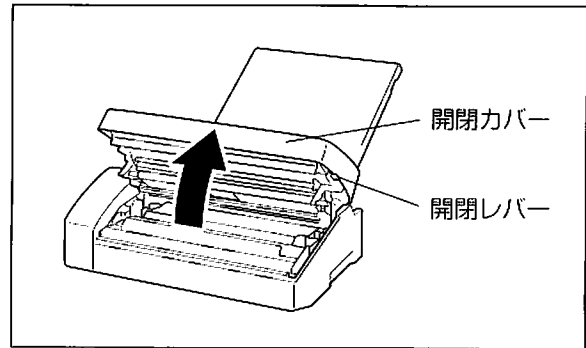
〈後面〉



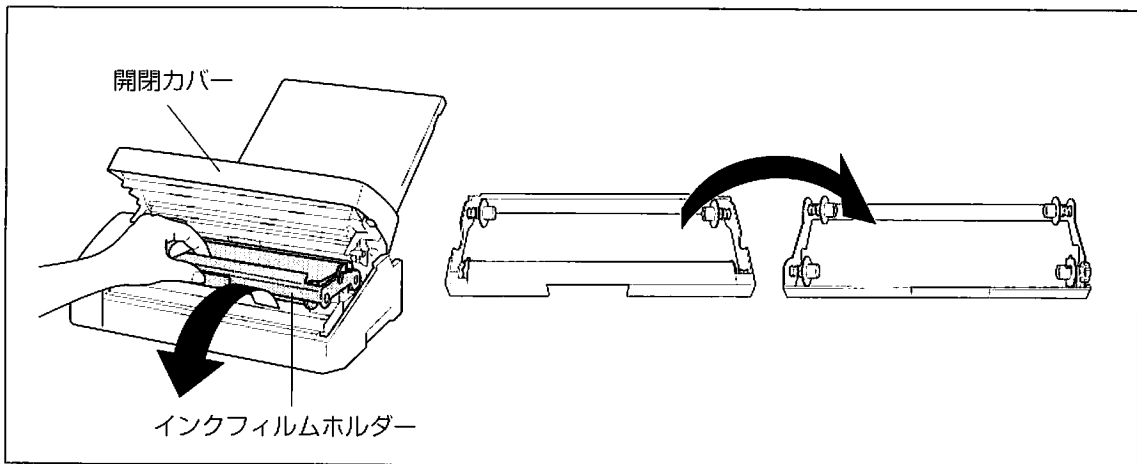
インクフィルム／記録紙のセットのしかた

■ インクフィルムのセット

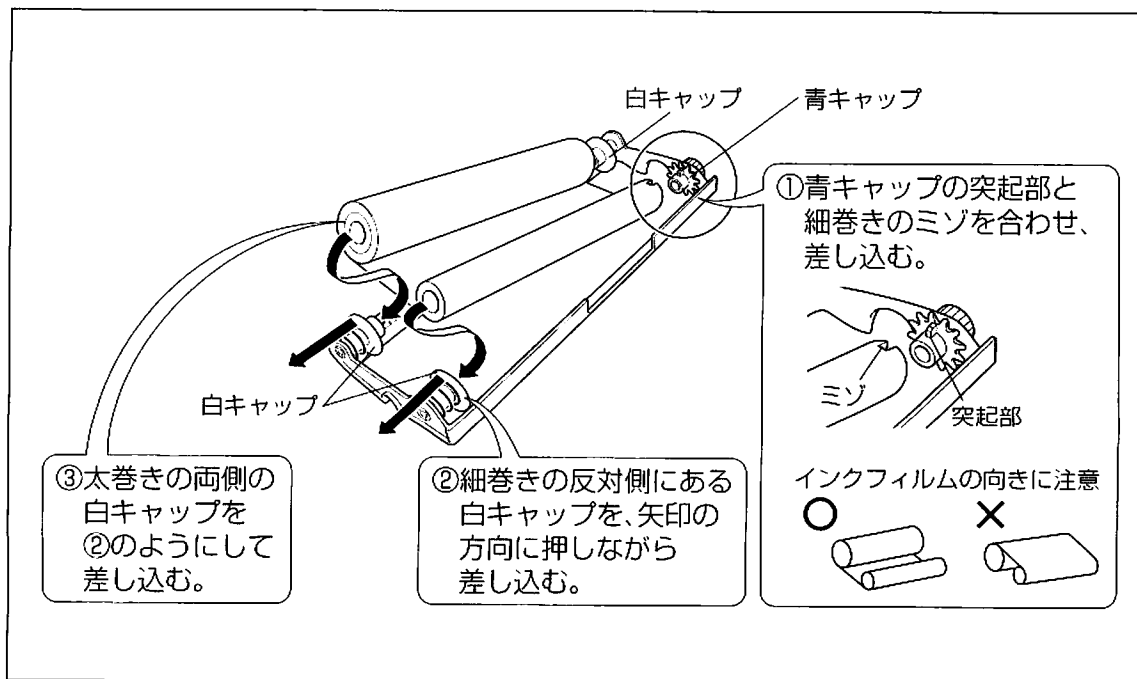
- 1 開閉レバーを上にあげ、開閉カバーを開ける



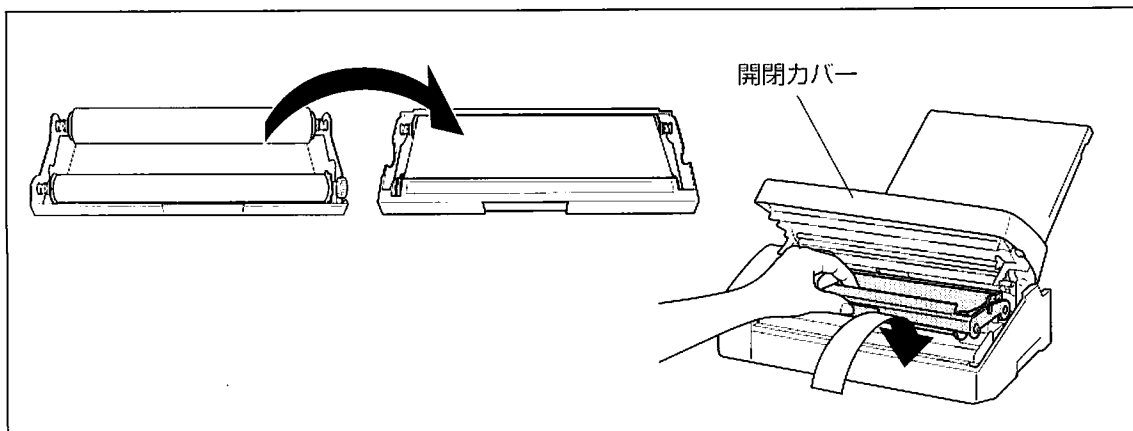
- 2 インクフィルムホルダーを取り出し、裏返しにする



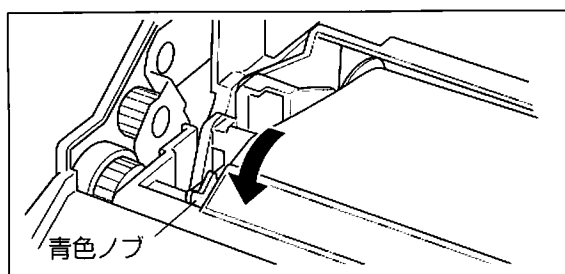
- 3 インクフィルムホルダーにインクフィルムを取り付ける



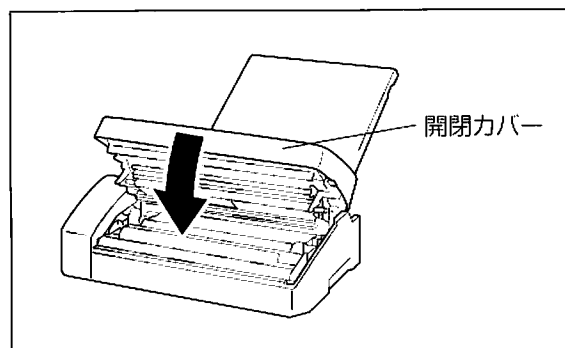
4 表向きにしてセットする



5 青色ノブを手前に回し、たるみを取り除く



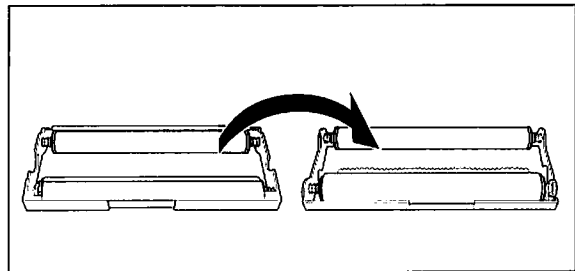
6 開閉カバーを閉める



- STOP** お願い ● インクフィルムは、当社指定品をご使用ください。
品名：書撮りくんFE 専用インクフィルム
- ご使用済みのインクフィルムは、可燃ゴミへ廃棄願います。
- コピーの場合、わずかな部分の印刷でも1回約345mm（A4サイズ相当）を使います。
付属品での印刷枚数：約27枚
専用インクフィルムでの印刷枚数：約85枚（利用状況により少なくなります。）

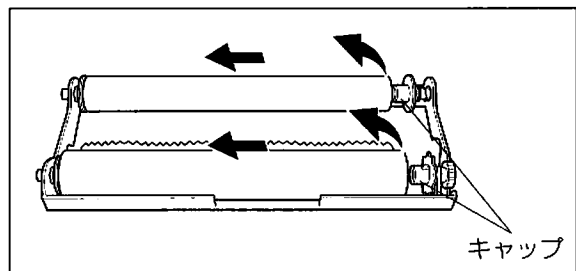
■ インクフィルムの交換

- 1 インクフィルムフォルダーを本体から取り出し裏返しにする



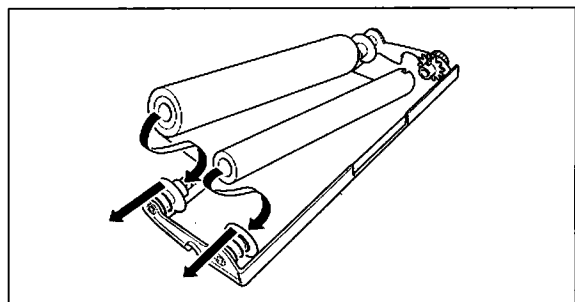
- 2 使用済みのインクフィルムを取り外す

- ・インクフィルムを矢印の方向に押しながらか取り出す。



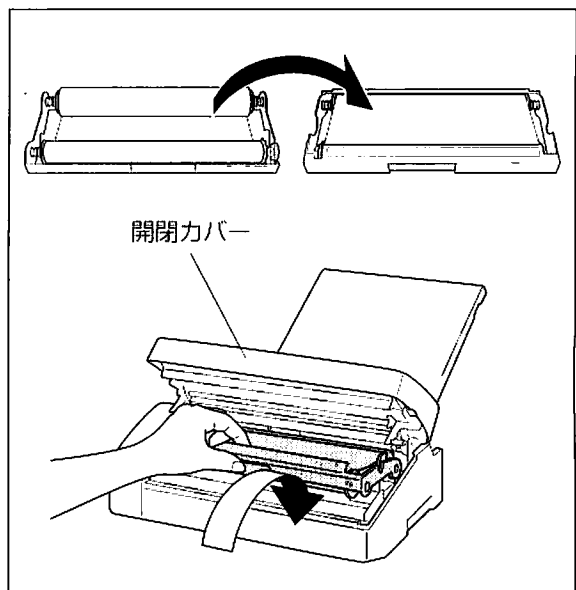
- 3 インクフィルムホルダーにフィルムを取り付ける

- ・新しいインクフィルムを箱から取り出す。
- ・15 ページの手順3 を参照して取り付ける。



- 4 表向きにしてセットする

- ・青色ノブを手前に回して、たるみを取り除く。
- ・開閉カバーを閉める。



● STOP お願い

- インクフィルムは、当社指定品をご使用ください。

品名：書撮りくんFE 専用インクフィルム

- ご使用済みのインクフィルムは、可燃ゴミへ廃棄願います。

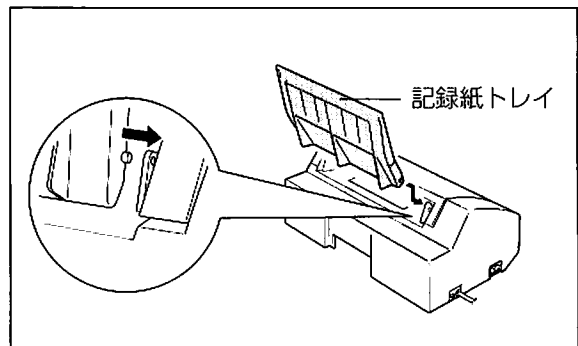
- コピーの場合、わずかな部分の印刷でも1回約345mm（A4サイズ相当）を使います。

付属品での印刷枚数：約27枚

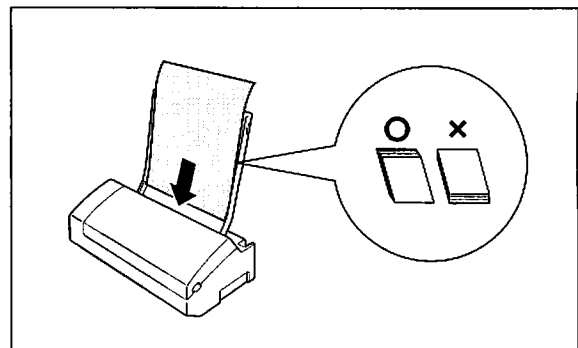
専用インクフィルムでの印刷枚数：約85枚（利用状況により少なくなります。）

■ 記録紙のセット

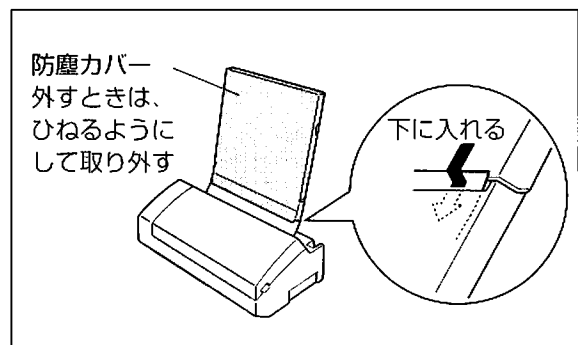
1 記録紙トレイを本体の穴に差し込む



2 記録紙をセットする



3 防塵カバーをセットする



● STOP お願い 印字不良や故障を防ぐために

- 折り目やシワのある記録紙は使わないでください。
- 残っている紙の下に記録紙を追加しないでください。
- 推奨紙で、20枚までの記録紙がセットできます。
- 紙の劣化を避けるため、必要枚数のセットをおすすめします。
- 記録紙は、当社推奨品をご使用ください。
- コピー後の記録紙の上に紙をのせて、文字を書かないでください。紙や机などにインクが転写することがあります。
- 記録紙を長期間セットしたままにしないでください。湿気などにより紙づまりの原因となります。

■ ボードに書く

1 ボードに書く

※コピーをとるとき (P.21)

■ ボードに貼る

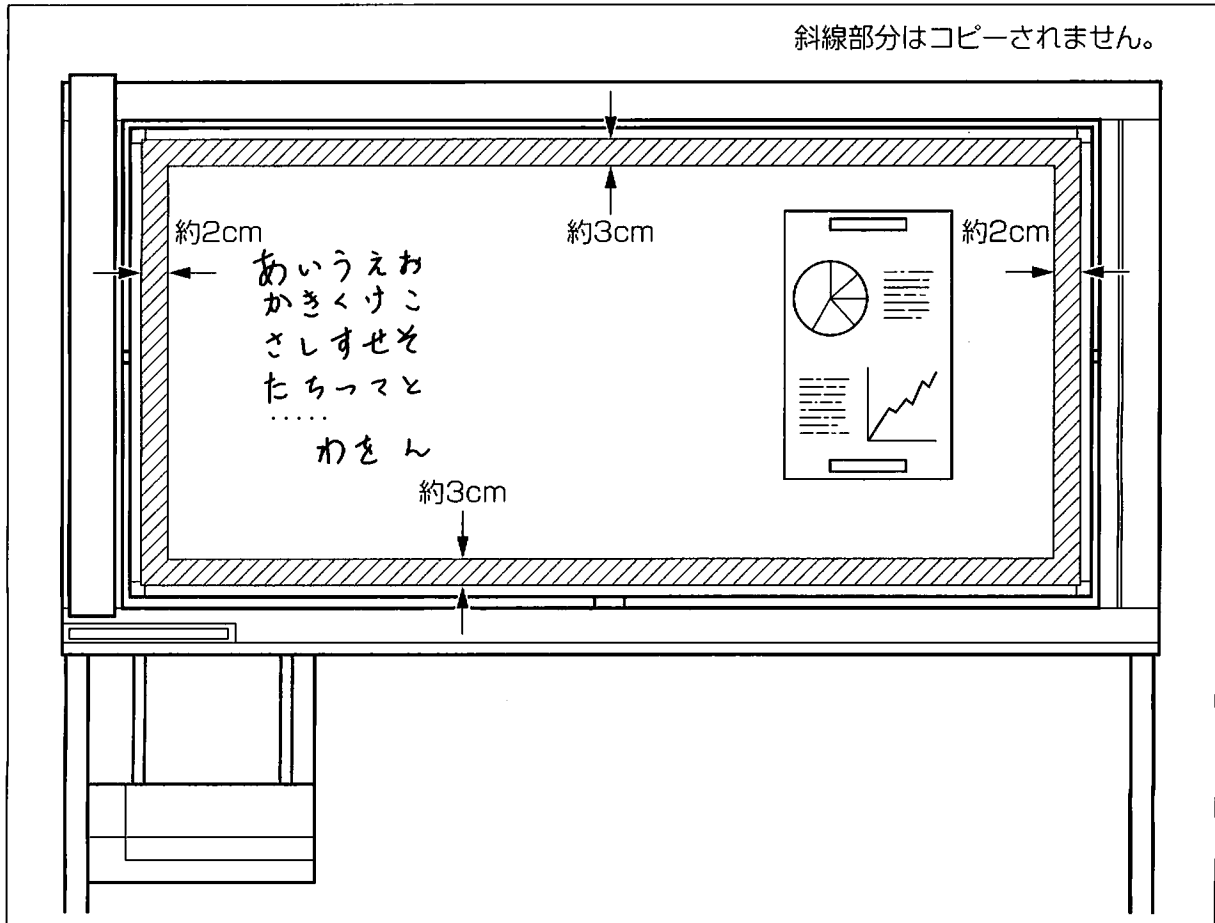
1 チャートを貼る

・ボードに原稿や印刷物を貼る。

2 マグネットでとめる

・マグネットは黒色に記録される。

※コピーをとるとき (P.21)



● STOP お願い ボードに書くときのご注意

- 黒、赤、青以外のマーカーを使うと記録されないことがあります。
- マーカーは当社製ホワイトボード用マーカーをご使用ください。

ボードに貼るときのご注意

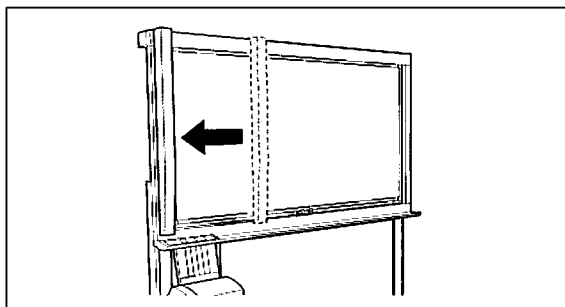
- チャートは、しわ、たるみ、折り目、浮きがあると、黒い影が記録されます。すき間なくしっかりと貼ってください。
- チャートの厚さは3mmまでです。
- マグネットは、厚さ7mm以下のものをご使用ください。

ボードは両面が使えます。

■ ボードを回転させる

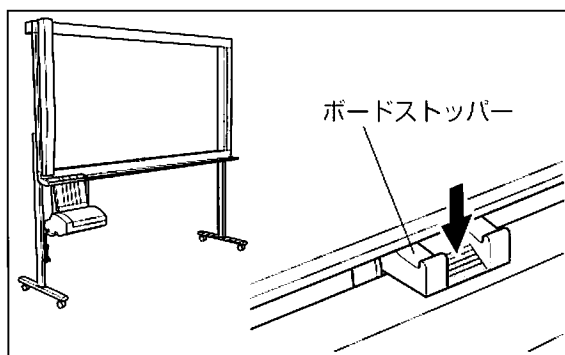
1 スキャナーを移動する

- ・ 左端まで移動する。



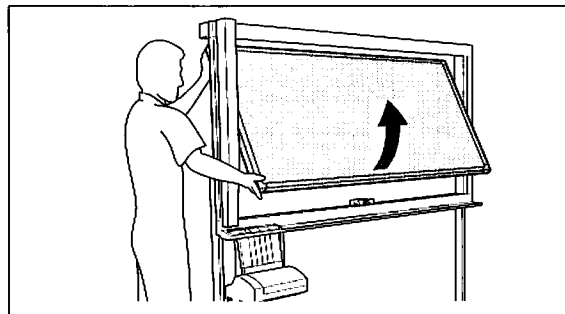
2 ボードストッパーをさげる

- ・ ボードストッパーの中央の部分を押す。



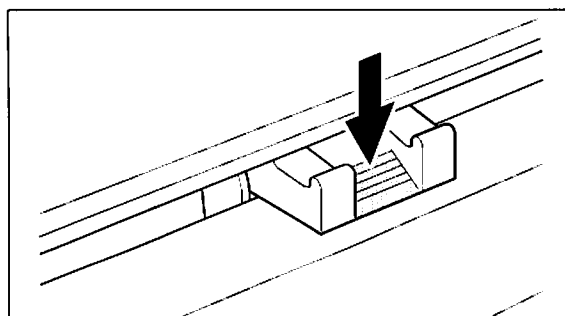
3 ボードを回転させる

- ※ 物や人にぶつからないように注意する。
- ※ 指をはさまないように注意する。



4 ボードを固定する

- ※ ボードがストッパーの溝にしっかり入ったことを確認してください。

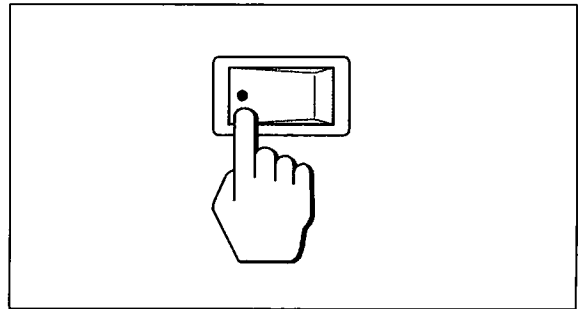


- STOP** お願い ● ボードを回転させるときは、ボード面の下側を機器正面側に引いて(手順3の矢印方向)回転させた後、固定します。
手順3の矢印方向と逆にボードを回転させるときは、ボードストッパーを下げてから、ボードを固定してください。

■ コピーをとる

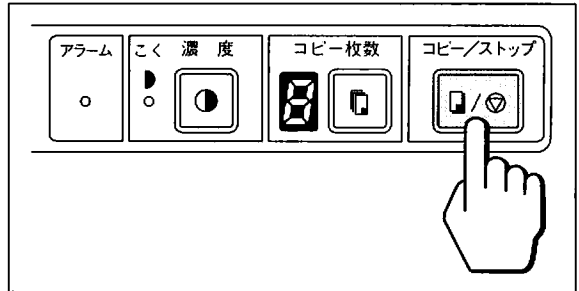
1 電源を入れる

- ・ 操作パネルの **コピー枚数** ランプ点灯。
- ・ 操作パネルの **アラーム** ランプ消灯状態。
- ・ 電源を入れた直後は、**コピー枚数** ランプが「0」を表示し、初期動作中であることを表します。表示が「1」になるとコピーをとることができます。



2 コピー/ストップボタンを押す

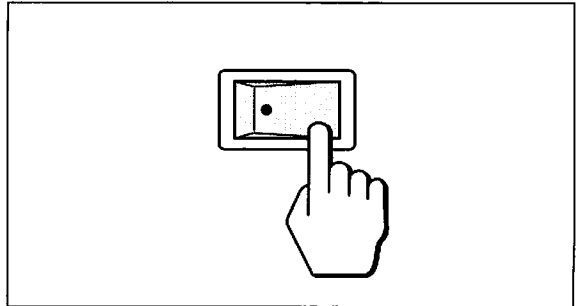
- ・ スキャナーの読み取り動作に続いて、コピー動作が始まります。
- ・ コピーを中止するときは、もう一度 **コピー/ストップ** ボタンを押す。
- ・ **コピー/ストップ** ボタンを押し続けると、コピーが止まる場合があります。



※濃度切り替え (P.22)

3 コピーが終了したら、電源を切る

- ・ 操作パネルの **コピー枚数** ランプ消灯。



補足 ●スキャナーがボードの中間位置にあるときに電源を入れると、自動的に左端へ移動します。また、スキャナーがボードの中間位置にあるときに**コピー/ストップ**ボタンを押すと、左端へ移動してからコピーを開始します。

お願い ●屋外や、直射日光のあたる場所では使用しないでください。コピーが白くなったり、黒くなったりすることがあります。
●ホワイトボードに直射日光があたる場合は、ブラインド、カーテン等で光があたらないようにしてください。

文字やチャート（原稿、印刷物）がうすくてもコピーができます。

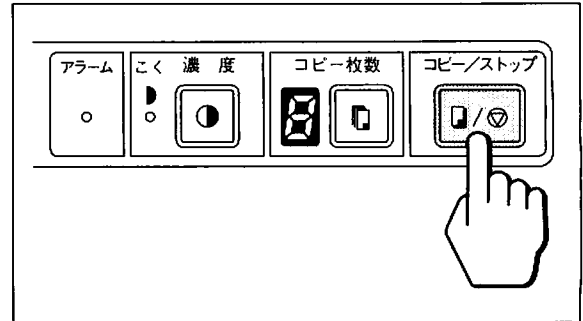
■ 濃度切り替え

● ふつうの文字の場合

1 コピー/ストップ ボタンを押す

・ (こく) ランプ消灯状態。

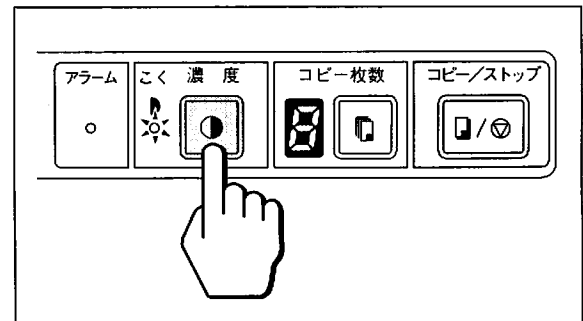
※ 電源を入れたときには、「ふつう」の設定になる。



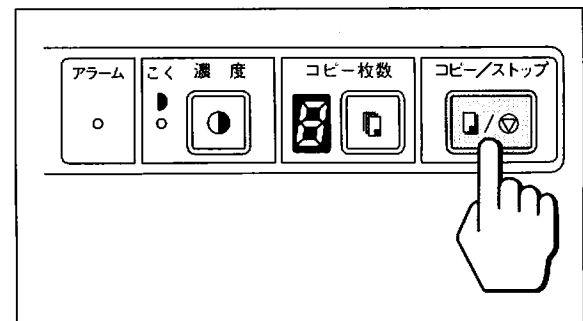
● うすい文字の場合

1 濃度 ボタンを押す

・ (こく) ランプ点灯。



2 コピー/ストップ ボタンを押す



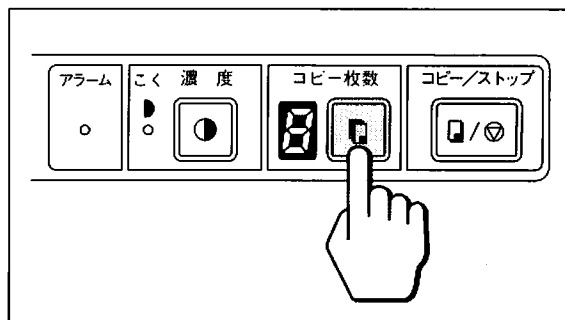
STOP お願い ● 「こく」の設定のとき、コピー画面に黒すじがでるときは、「濃度」ボタンを押し「ふつう」の設定にしてください。

最大9枚までのコピーができます。

■ 複数枚コピーのとりかた

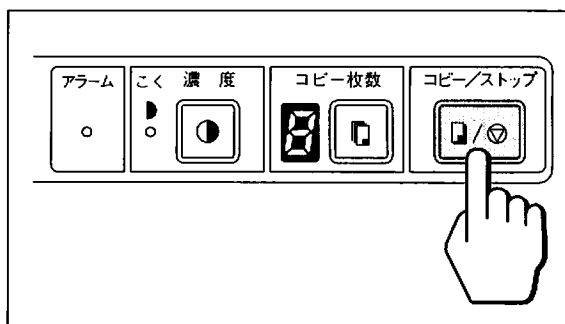
- 1 **コピー枚数** のボタンを複数回押し、**コピー枚数** ランプの表示を希望の枚数に合わせる

※電源を入れたときには、1枚の設定です。



- 2 **コピー/ストップ** ボタンを押す

- ・ スキャナーの読み取り動作に続いて、コピー動作が始まります。
- ・ コピー中は、残りのコピー枚数が **コピー枚数** ランプに表示されます。
- ・ コピー終了後、コピー枚数は1枚に戻ります。



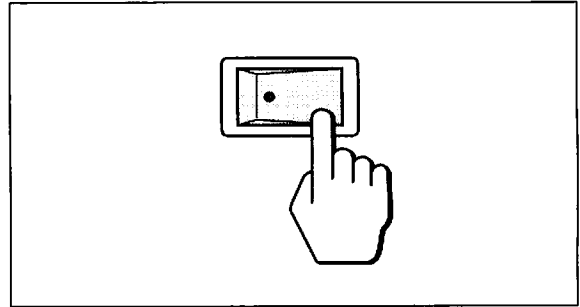
☑ 補 足 ●10枚以上のコピーが必要な場合は、再度必要枚数のコピーをしてください。

お手入れのしかた

■ 本体の清掃

1 電源を切る

・ 操作パネルの(コピー枚数)ランプ消灯。



2 柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから本体(レール、枠、受け皿、ボード、脚、プリンターカバー、スキャナーカバー等)をふく

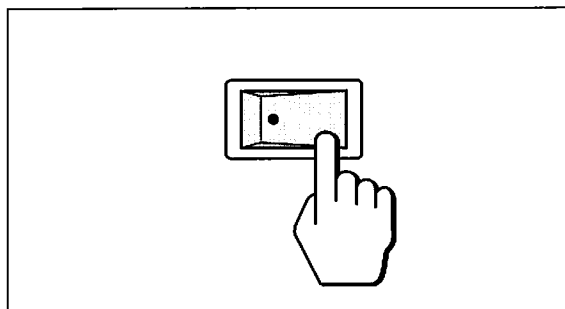
- STOP** お願い ●みがき粉、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
- ホワイトボード表面を清掃する際は、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふいてください。
界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。マーカーの文字や線が消えにくくなる場合があります。
- ボードを回転させるときは、P.20を参照してください。

コピーに横長の黒い線が出るときは、スキャナーのレンズが汚れていることがあります。

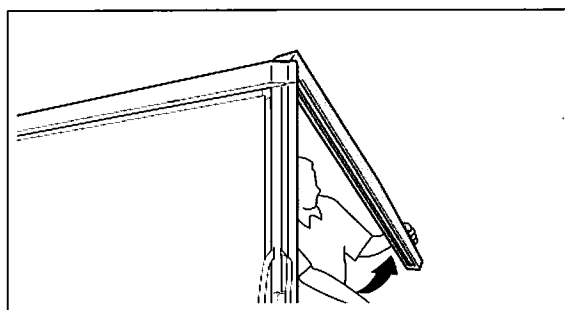
■ スキャナーユニットの清掃

1 電源を切る

・ 操作パネルの(コピー枚数)ランプ消灯。

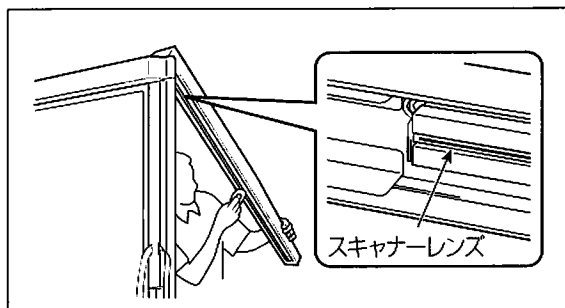


2 スキャナーを開く



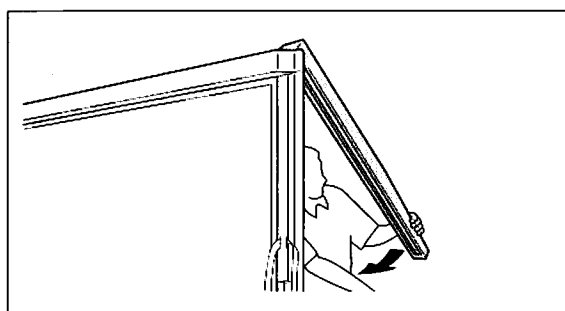
3 レンズをふく

・ レンズは、スキャナー中央付近にあります。(右図を参照してください)
・ 柔らかい布または綿棒に水を浸し、よくしぼってから軽くふいてください。



4 スキャナーを戻す

・ 静かにもとの位置に戻します。



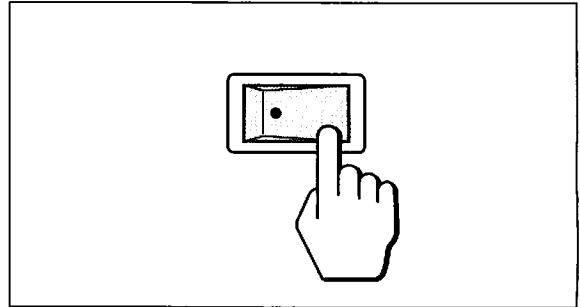
- STOP** お願い ●みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
●スキャナーには強い衝撃を与えないでください。機器障害の原因となります。

記録紙がうまく繰り込まないときや、コピーした記録紙が汚れるときは、給紙ローラーと記録ローラーの清掃をしてください。

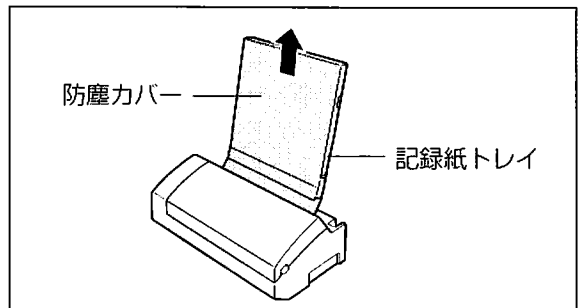
■ プリンターの清掃

1 電源を切る

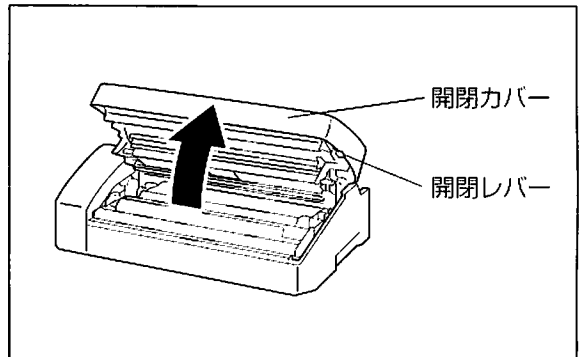
・ 操作パネルの(コピー枚数)ランプ消灯。



2 防塵カバーと記録紙トレイを取り外す

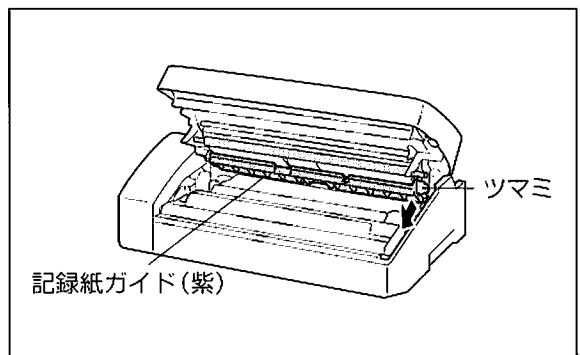


3 開閉レバーを押し上げ、開閉カバーを開ける



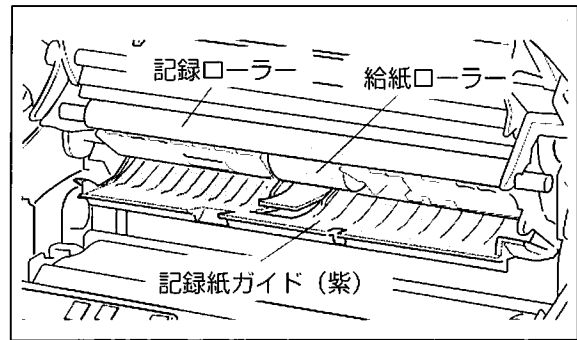
4 紫色の記録紙ガイドを開く

・ 開閉カバーを押さえながら、右側のつまミを持って開きます。

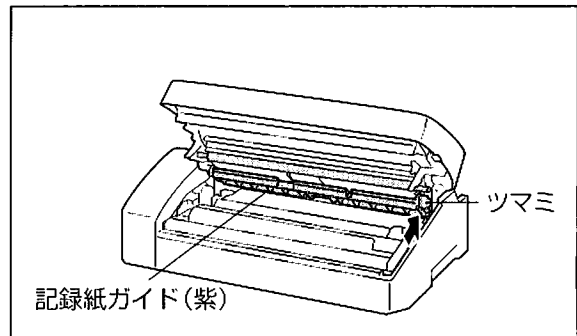


5 給紙ローラーと記録ローラーを ふく

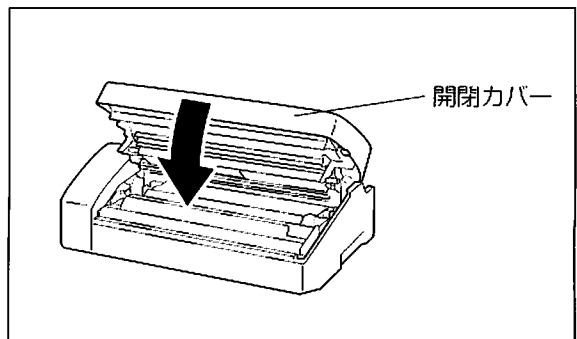
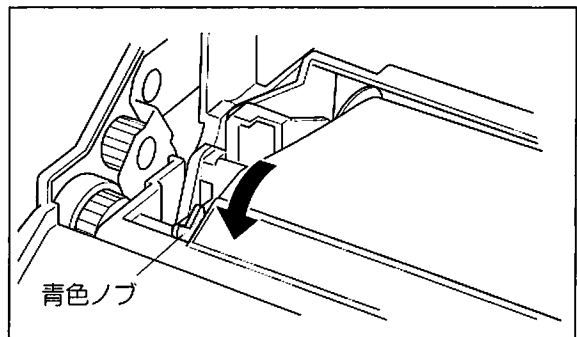
- ・ 柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってから
ふいてください。



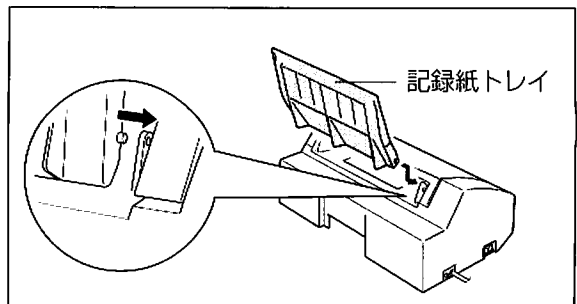
6 記録紙ガイドを閉じる



7 インクフィルムのたるみを取り 除き、開閉カバーを閉じる



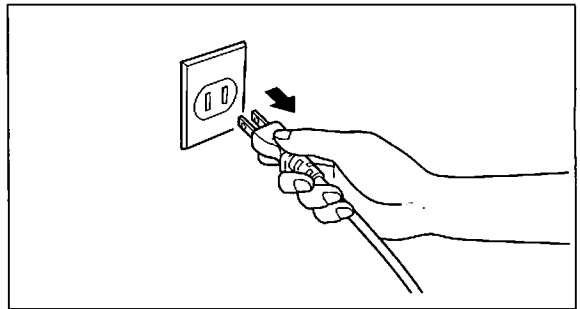
8 記録紙トレイを取り付ける



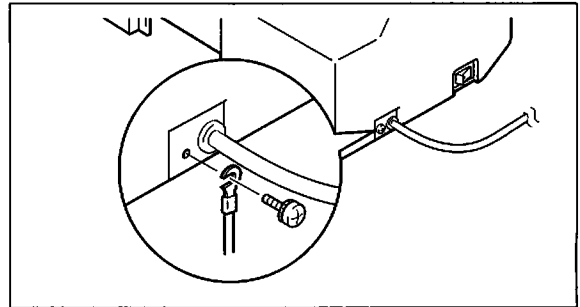
STOP お願い ● みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。

移動するときには

1 電源プラグを抜く

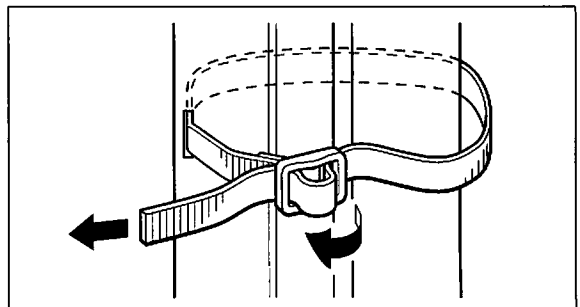


2 アース線を接続している場合は、はずす



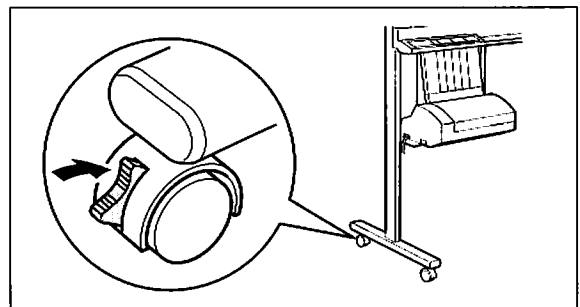
3 スキャナーバンドでスキャナーを固定する

・ スキャナーを左端に移動させて行う。



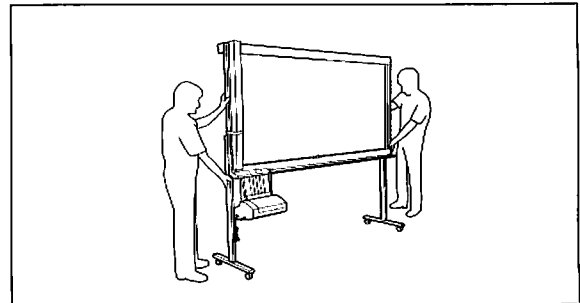
4 キャスターのロックを解除する

・ 後面左右のロックを解除。

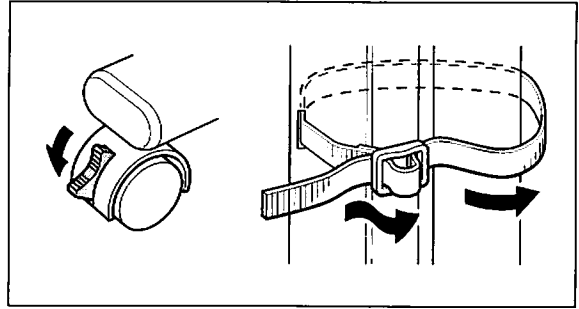


5 移動する

・ 衝撃や振動を与えない。



6 キャスターをロックし、スキャナーバンドをはずす



STOP お願い 移動するときのご注意

- 移動の際、スキャナー、プリンターは手で持たないでください。
- 段差のあるところでは、衝撃や振動を与えないよう注意して移動してください。
- 段差のあるところを移動するときは、防塵カバー、記録紙をとり、記録紙トレイをたたんでください。
- 電源コードを引きずらないように束ねてから移動してください。

こんなときには

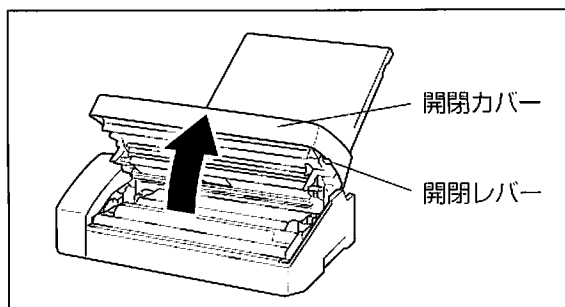
操作のミスなどで故障と間違えることがあります。修理を依頼する前に次の項目をチェックしてください。チェックしても直らないときは、「アフターサービスについて」P.35の項をお読みになって修理を依頼してください。

症状	原因	処置
ボードに書いた文字が消えにくい。		水を浸した布をよくしぼってふいてください。
電源が入らない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
操作パネルの(アラーム)ランプが点灯し、以下の表示が出る。		
1. (コピー枚数)ランプの表示が「d」となる。	開閉カバーが開いていませんか？	開閉カバーを閉じます。
2. (コピー枚数)ランプの表示が「F」となる。	インクフィルムがなくなったり、たるんだりしていませんか？	インクフィルムを交換、またはたるみを取ってください。(P.17)
3. (コピー枚数)ランプの表示が「P」の点滅となる。	記録紙がなくなっていますか？	記録紙をセットします。(P.18)
4. (コピー枚数)ランプの表示が「P」となる。	記録紙がつまっていますか？	つまっている記録紙を取り除いてください。(P.32)
5. (コピー枚数)ランプの表示が「H」となる。	記録ヘッドが過熱しています。	電源を切って記録ヘッドが冷えるまでしばらく待ってください。(約10分)
6. (コピー枚数)ランプの表示が「J」となる。	スキャナーのセンサーが異常とされます。	[コピーストップ] ボタンを押してください。
7. (コピー枚数)ランプの表示が「E」となる。		お買い上げの販売店、またはお近くの「お客様ご相談センター」にご連絡ください。
8. (コピー枚数)ランプの表示が「r」となる。	ホワイトバランス調整中に電源を切りませんでしたか？	ホワイトバランス調整をやり直してください。(P.33)
コピーがうすい、またはかすれる。	マーカーは黒、赤、青以外のものを使っていますか？	黒、赤、青のマーカーをお使いください。
	文字や線が細くないですか？	文字や線を太く書いてください。
	マーカーは古くないですか？	新しいマーカーに交換してください。
	当社推奨の記録紙を使用していますか？	当社推奨の記録紙をお使いください。
コピーが横長状に黒くなったとき、または真っ黒になったとき。	有効記録画面外に文字を書いていますか？	有効記録画面内に文字を書いてください。(P.19)
	スキャナーのレンズにゴミが付着したり、汚れたりしていませんか？	スキャナーのレンズを清掃してください。(P.25)
	直射日光の当たるところで使用していませんか？	直射日光が当たらないようにブラインド、カーテン等を閉めてください。
	ホワイトバランスが異常とされます。	ホワイトバランス調整をしてください。(P.33)

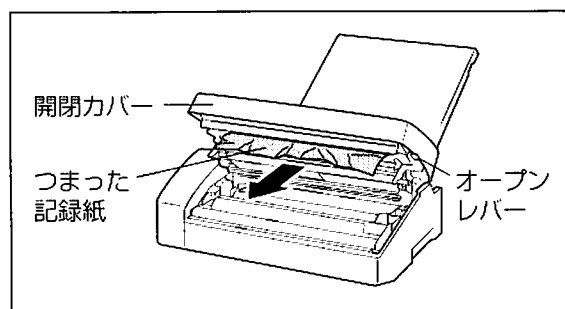
症 状	原 因	処 置
コピーが横長状に白くなったとき、または真っ白になったとき。	・ 直射日光の当たるところで使用していませんか？	・ 直射日光が当たらないようにブラインド、カーテン等を閉めてください。
コピーした記録紙が汚れている、または記録紙がうまく繰り込まない。	・ 記録ローラー、給紙ローラーが汚れている	・ 記録ローラー、給紙ローラーを清掃してください。(P.26) (通常は、必ず防塵カバーを取り付けて使用してください。)
	・ 記録紙は正しくセットされていますか。	・ 記録紙を正しくセットしてください。(P.18)
	・ 記録紙の先端が折れ曲がっていませんか。	・ 記録紙の折れ曲がりなどをのばしてから、セットし直す。

■ 記録紙が詰まったとき

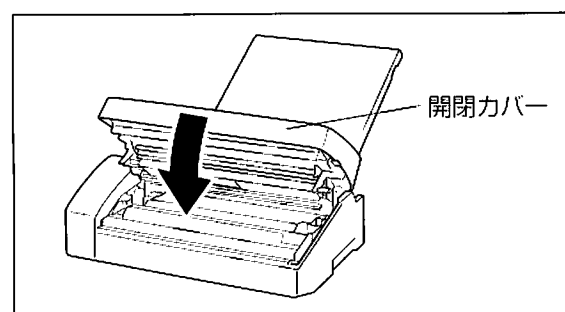
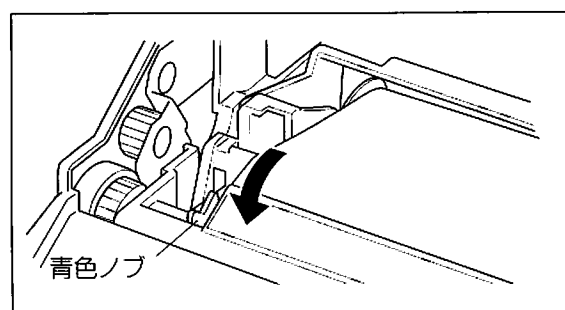
- 1 開閉レバーを押し上げ、開閉カバーを開ける



- 2 つまった記録紙を矢印の方向に引き抜く



- 3 インクフィルムのたるみを取り
開閉カバーを閉める

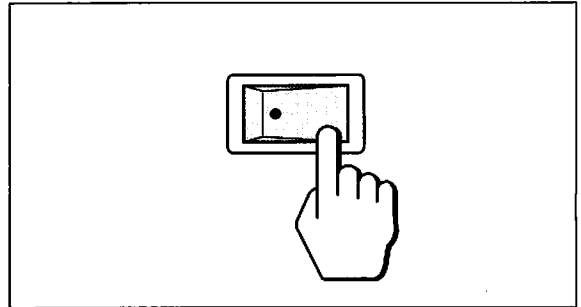


コピーが真っ黒になる、横長状に黒くなるなどの症状があるときや、**コピー枚数**ランプが『r』と表示されたときは、ホワイトバランス調整をしてください。

■ ホワイトバランス調整

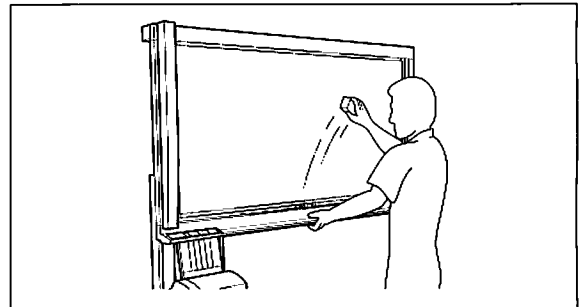
1 電源を切る

- ・ 操作パネルの**コピー枚数**ランプ消灯。
- ・ インクフィルムはセットし、開閉カバーは閉めてください。



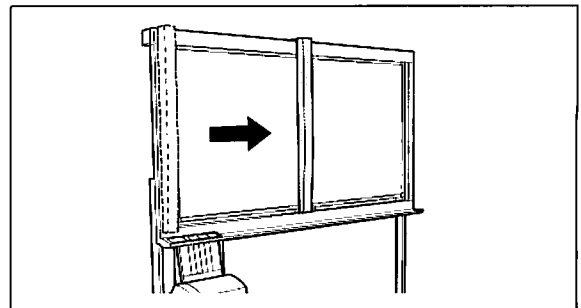
2 ボード面を清掃する

- ・ 消し残りのないようにしてください。
- ・ 文字や線が消えにくい場合は柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふいてください。



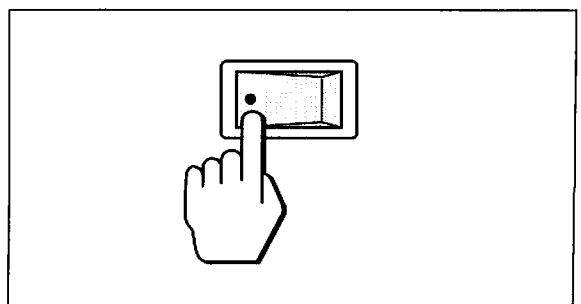
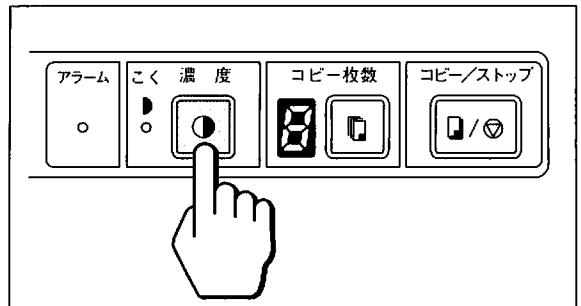
3 スキャナーを移動する

- ・ スキャナーをボードの中央位置まで移動させます。



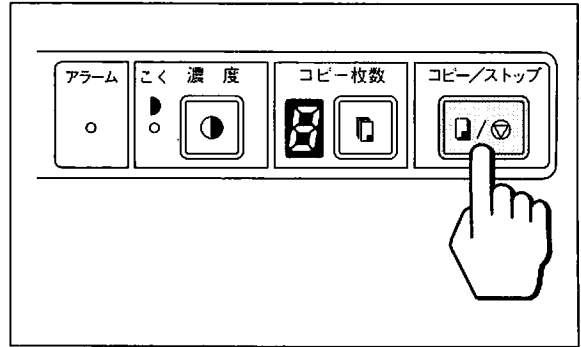
4 **濃度** ボタンを押しながら、電源を入れる

- ・ **コピー枚数**ランプが『0』から『-』を表示するまで押し続けてください。



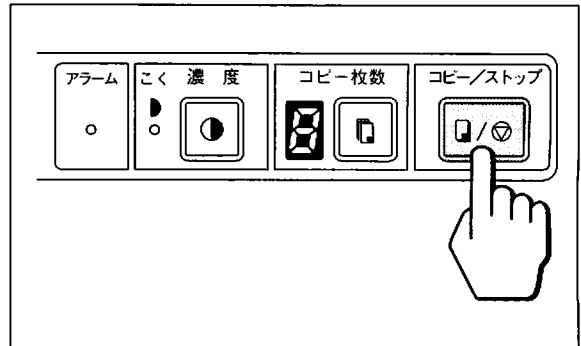
5 コピー/ストップボタンを押す

- ・ (コピー枚数)ランプの表示が『0』に変わるとホワイトバランス調整が始まります。
- ・ (コピー枚数)ランプの表示が『0』に変わるとホワイトバランス調整は終了です。スキャナーは自動的に左端へ移動します。表示が『1』に変わるとコピーをとることができます。



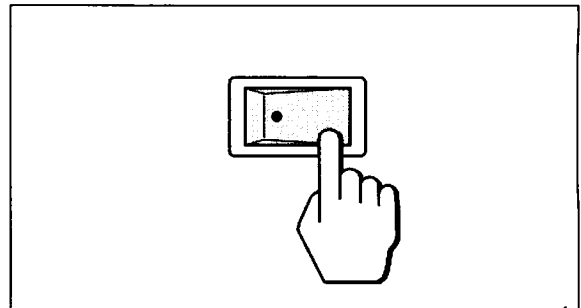
6 コピー動作の確認をする

- ・ ボードに書き込んだ内容をコピーして確認する。
- ・ 異常が取り除けない場合は販売店またはウチダテクノサービスにお問い合わせください。



7 電源を切る

- ・ 操作パネルの(コピー枚数)ランプ消灯。



- STOP** お願い
- みがき粉、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
 - ホワイトボード表面を清掃する際は、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふいてください。
界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。マーカの文字や線が消えにくくなる場合があります。
 - 屋外や、直射日光のあたる場所ではホワイトバランス調整を行わないでください。コピーが白くなったり、黒くなったりすることがあります。
 - ホワイトボードに直射日光があたる場合は、ブラインド、カーテンなどで光があたらないようにしてください。
 - ホワイトバランス調整中はスキャナーを動かしたり、電源を切らないでください。

アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は別発送になっております。ご面倒ですが、同封のハガキに「お買い上げ日」、「販売店名」などの記入のうえ、投函して頂きますようお願いいたします。保証書は内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間…………… お買い上げ日から6ヵ月間です。

2. 修理を依頼されるとき

■P.30の「こんなときには」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはウチダテクノサービスに修理をご依頼ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従ってウチダテクノサービスが出張修理させていただきます。修理に際しては、保証証をご提示いただき、以下をご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店またはウチダテクノサービスへご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

この書撮りくんFEの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低5年間保有しております。

4. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはウチダテクノサービスにお問い合わせください。

■ 消耗品

お買上げの販売店または当社営業におたずねください。

■ 記録紙

推奨品以外は使わないでください。

品名 書撮りくんF1・FE用プリンターペーパーA4

■ インクフィルム

指定品以外は使わないでください。

品名 書撮りくんFE用インクフィルム

ホワイトボード用品

お近くの文房具店でお買い求めください。

■ ラーフル（黒板消し）

当社製ホワイトボード用ラーフルF型大または小をご使用ください。

■ マーカー

当社製ホワイトボードマーカー各種（黒、赤、青）

市販のホワイトボード用マーカーもご使用になれます。

■ マグネット

当社製マグネット各種

厚さ7mm以下のものがご使用になれます。

■ オプション品

お買上げの販売店または当社営業におたずねください。

■ PC/IFキット

書撮りくんFEで読み取ったデータをパソコンに取り込むためのインタフェースキットです。

品名 書撮りくんFE・mini用PCIF

主な仕様

項目		機種	書撮りくん FE1300 型
外形寸法			横1500×縦1845×奥行530(mm)
ボード外形サイズ			横1298×縦866(mm)
コピー可能サイズ			横1240×縦797(mm)
ボード面数			2面
ボード材質			スチールホワイトボード
記録方式 ^{※3}			熱転写記録方式
用紙 ^{※1}			普通紙A4判 210×297mm(カット紙)
記録密度			主走査:8dot/mm 副走査:7.7本/mm
読取方式			密着型イメージセンサーによるスキャナー移動方式
読取時間 ^{※2}			約24秒
読み取り 解像度	主走査		1.81dot/mm
	副走査		1.74本/mm
読み取り濃度調整			2段階(ふつう:こく)
コピー枚数			1~9枚
質量			約27kg
電源			AC100V±10% 50/60Hz
消費電力			動作時:最大100W 平均:45W 待機時4W
使用環境条件			温度10~35℃ 湿度30~85%(結露無きこと)

※1 用紙は、当社の推奨品をご使用ください。

(推奨品：書撮りくんF1・FE用プリンターペーパーA4)

推奨品以外の用紙を使用の場合、記録品質や搬送性に悪影響が出たり、故障の原因となることがあります。

※2 コピー可能サイズの読み取り時間。

※3 インクフィルムは、当社の指定品をご使用ください。

品名：書撮りくんFE専用インクフィルム

指定品以外のインクフィルムをご使用の場合、記録品質や搬送性に悪影響が出たり、故障の原因となることがあります。

取扱説明書

書撮J^oFE

この『取扱説明書』はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この『取扱説明書』を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認の上、請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。